

## 死と終末期ケア・緩和ケアの今

**日程** 平成30年1月26日(金) (14:00~16:30)

**対象者** 介護福祉関係者 推奨職員:(全般・福祉関係施設・事業所)  
及び興味のある方

**料金** 会員(法人・個人) 5,000円 ・ 一般 6,000円

**会場** 振興会セミナールーム(横浜市中区山下町23番地 日土地山下町ビル9階)  
\*みなとみらい線「日本大通り」駅 徒歩5分

### 《カリキュラム》

高齢社会の到来とともに、医療や介護の現場においては、誰かを看取ることが非常に増えてきています。

また私たち介護・医療従事者は、仕事としてはもちろん、家族として大切な人の老いを見つめ、看取る経験もあります。そのようなときに、どのように見守り、どのようにケアに当たるべきか。

自ら1000人以上のがん・非がん(認知症・老衰)の患者さんを看取り、そのご家族と接してきた現役緩和医療医の大津氏の話を通して、最新の知見から学ぶ講演会です。



### 【 講 師 】

東邦大学医療センター 大森病院 緩和ケアセンター

センター長 緩和医療専門医 **大津 秀一**

内科専門研修後、日本最年少のホスピス医(当時)として京都市左京区の日本バプテスト病院ホスピスに勤務したのち 2008年5月より東京都世田谷区の有床診療所に勤務し、入院・在宅(往診)双方でがん患者・非がん患者を問わない終末期医療の実践を行う。現在は、東邦大学大森病院緩和ケアセンターに勤務。多数の終末期患者の診療に携わる一方、著述・公演活動を通じて緩和医療や死生観の問題等について広く一般に問いかけを続けている。著書に『傾聴力』『「いい人生だった」と言える10の習慣』『どんな病気でも後悔しない死に方』など多数。

ほとんどの人は死を前にすると後悔するという。1000人を越す患者たちの吐露した「やり残したこと」を25に集約して紹介しベストセラーとなった「死ぬときに後悔すること25」の著者。

法人名	※会員の方は必ず法人名をご記入下さい。		
事業所名			
会員確認	( ) 会員	( ) 個人会員	( ) 一般
個人会員番号			
連絡先	〈住所〉 〒 _____ ( 自 宅 ・ 法 人 ・ 事 業 所 )		
	〈電話〉 _____	〈ファックス〉 _____	
法人サービス詳細	① 特定施設(介護付有料老人ホーム) ② 特定施設(介護付有料老人ホーム以外) ③ 特別養護老人ホーム ④ 介護老人保健施設 ⑤ 介護療養型医療施設 ⑥ 訪問介護 ⑦ 通所介護 ⑧ 居宅介護支援 ⑨ 地域密着型サービス ⑩ その他のサービス( )		

### <参加者名簿>

### お申込合計人数 ( 名 )

No.	フリガナ 氏 名 *	ご職業	①参加費	※研修に期待すること 聞きたいことなど・ ご自由にお書き下さい。
1		①経営者 ②管理者 ③介護職員 ④看護職員 ⑤ケアマネジャー ⑥公務員 ⑦学生 ⑧その他( )	1.会員(¥ 5,000) 2.一般(¥ 6,000)	
2		①経営者 ②管理者 ③介護職員 ④看護職員 ⑤ケアマネジャー ⑥公務員 ⑦学生 ⑧その他( )	1.会員(¥ 5,000) 2.一般(¥ 6,000)	
3		①経営者 ②管理者 ③介護職員 ④看護職員 ⑤ケアマネジャー ⑥公務員 ⑦学生 ⑧その他( )	1.会員(¥ 5,000) 2.一般(¥ 6,000)	
4		①経営者 ②管理者 ③介護職員 ④看護職員 ⑤ケアマネジャー ⑥公務員 ⑦学生 ⑧その他( )	1.会員(¥ 5,000) 2.一般(¥ 6,000)	